



『啐啄』

瀬田中学校 校長 今井 弘樹



☆ 10月23日に体育大会を終え、11月に入り1年生は校外学習（飯を練しての石山寺坂本間の自主研修）2年生は職場体験学習、3年生は進路面談と、生徒たちは学習に加えて貴重な体験をしています。さて、今号ではまず皆様もよくご存知の方の小学6年生の時の作文を紹介します。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出で活躍しなければなりません。活躍できるようにするために練習が必要です。僕は三歳の時から練習を始めています。僕は三歳から七歳までは半年くらいやっていましたが、三年生の時から今までは三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。だから一週間で友達と遊べる時間は五、六時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信のあるのは投手が打撃です。去年の夏僕たちは全国大会へ行きました。そして、ほとんどの投手を見ましたが自分が大リーグナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうちホームラン三本を打ちました。そして全体を通した打率は五割八分三厘でした。このように自分でも納得いく成績でした。そして、僕たちは一年間負け知らずで野球ができました。だからこの調子でこれからもがんばります。そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらおうのも夢の一つです。とにかく、一番大きな夢は野球選手になることです。」

作者はもうおわかりと思います。大リーガーイチロー選手の子どもの時代の作文です。“夢”を実現するには、自分の“夢”を素直に信じること。自らの“夢”に進んで代償を支払おうとする強い気持ち。お世話になった人の期待に報いたいという気持ち。“夢”を抱き実現すべく燃えることができるのはきっと人間だけです。生徒たちが自分の『夢』を定めて、“夢”の実現に向けて歩み初めてくれることを期待しています。そんな自分なりのスポーツの夢を抱いた1,2年の生徒たちで秋の大会に

平成30年度
滋賀県秋季総合体育大会
平成30年10月19日(金)

挑みたいへん優秀な成績を残してくれました。

平成30年度		平成30年10月19日(金)	
滋賀県秋季総合体育大会			
部活		結果	
陸上	男子	男子共通4×100mR(上徳、寺井、田井、森下) 4位 男子800m 小山 育玖 5位 男子100m 寺井 博冬 8位	
	女子	女子走り高跳び 水谷 菜里 1位	
野球		1回戦 瀬田 7-6 比叡山 2回戦 瀬田 7-2 打出 決勝 瀬田 0-3 南郷	
サッカー		1回戦 瀬田 0-0 田上・南郷合同 PK4-3 2回戦 瀬田 0-1 栗津 市ベスト8	
ソフトボール		2回戦 瀬田 6-5 高島 3回戦 瀬田 7-2 北大路 決勝 瀬田 3-7 仰木 市2位	
ソフトテニス	男子	ブロック団体 1位 2回戦 瀬田 2-0 南郷 決勝 瀬田 2-0 瀬田北 個人 緒方・三好1位 河合・三谷3位 大関・人見7位	
	女子	ブロック団体 1位 2回戦 瀬田 2-0 栗津 決勝 瀬田 2-0 南郷 個人 木村・川原3位	
卓球	男子	団体Dゾーン1位 瀬田 3-0 南郷、瀬田 3-0 北大路、瀬田 3-1 日吉 ゾーン決勝 瀬田 3-1 瀬田北 個人Dゾーン1位 八木 廉斗	
	女子	団体Dゾーン1位 瀬田 3-1 青山、瀬田 3-0 伊香立、瀬田 3-0 栗津 ゾーン決勝 瀬田 3-2 堅田 個人Dゾーン1位 長田 晴夏	
バスケットボール	男子	1回戦 瀬田 42-63 附属	
	女子	1回戦 瀬田 35-51 北大路	

部活		結果	
バレーボール	男子	予選リーグ 瀬田 2-0 唐崎、瀬田 2-0 高島 準決勝 瀬田 2-0 堅田 決勝 瀬田 2-0 唐崎 ブロック1位	
	女子	2回戦 瀬田 2-0 打出 準決勝 瀬田 0-2 栗津 三 決 瀬田 2-1 石山 ブロック3位	
バドミントン	男子	女子団体 1回戦 瀬田 2-1 南郷 2回戦 瀬田 0-2 仰木 市ベスト8 女子個人 シングルス・ダブルス 1・2回戦敗退	
	女子	男子個人 シングルス 1・2回戦敗退	
ボート	男子	男子総合 2位 男子シングルスカル 1位 宮口 優希	
	女子	女子総合 2位 女子シングルスカル 2位 田中 希実 女子ダブルスカル 2位	
体操		西村 陸 男子個人総合13位、床14位、跳馬 4位、鉄棒 12位	
硬式テニス		高橋 優太 男子シングルス 県ベスト16 山下 夕貴 女子シングルス 県ベスト16	
水泳		台風接近のため中止	

平成30年度の全国学力・学習状況調査について、本校の状況がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせします。また、この結果を受けての今後の本校の取り組みについてもお知らせします。

【結果について】《概要》

学力状況については、数学Aは全国平均正答率とほぼ同じ水準にあります。ただ、国語A・B、数学B、理科に関しては全国平均正答率を少し下回る結果となりました。

項目別に見ると、国語Aでは「書くこと」に関しては得意とする領域ですが、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、もっと伸ばし得意とさせたい領域です。国語Bでは、「書くこと」、「読むこと」の領域をもっと伸ばし、改善に努める必要があります。特に「話すこと・聞くこと」に関する領域は国語A・Bともかなり課題があり、改善に努める必要があります。

数学A・Bともに「資料の活用」、「関数」に関しては得意とする領域で、特に「関数」は全国水準から見ても得意とする領域でした。ただ、数学Bでの「図形」に関する領域はまだだ力を入れる必要があります。

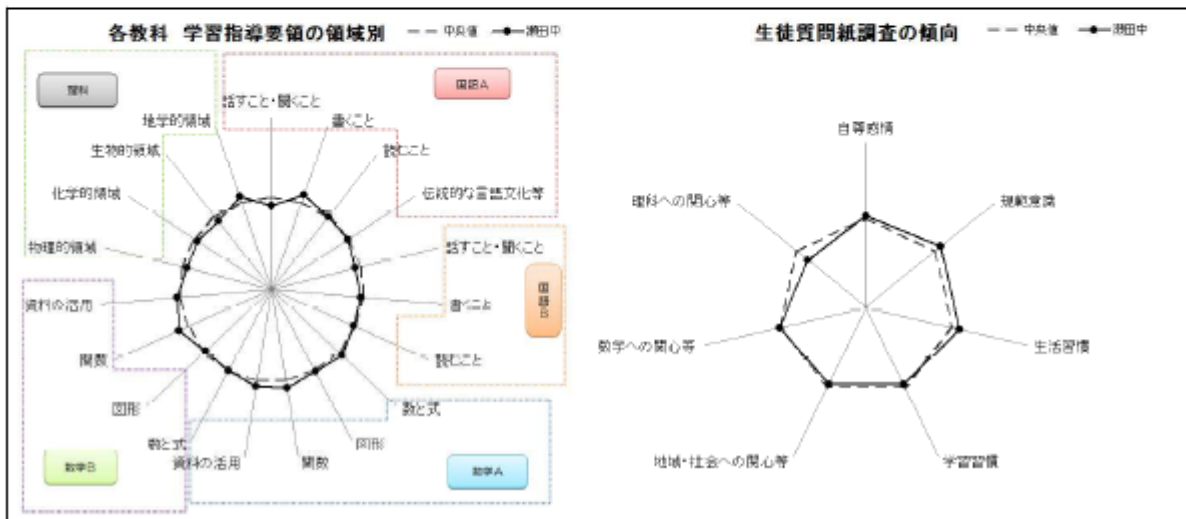
理科では「地学的領域」に関しては全国水準から見ても得意とする領域ですが、その他の領域は課題があり、改善に努める必要があります。

学習状況では、理科への関心に課題がありました。

《強み・弱み》

◇強み・弱みレーダーチャート◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは本校平均正答率の差に基づいて作成しました。

破線は本校平均正答率を表しています。破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

平成25年度より取組んでいる協同的な学び（学び合い学習）に加え、学習のめあてを明確にして行う学習活動の取組により、国語Aにおける表現活動領域の書く力と、数学A・Bにおける関数領域と理科における地学的領域に本校の強みが見られるようになりました。しかしながら、国語におけるコミュニケーション領域と数学・理科における記述問題に対して弱い傾向が見られるので、各教科での対策を講じていきたいと考えています。理科については3年ぶりの実施で、得たデータをもとに改善に努めていきたいと考えています。

また質問調査からは、自尊感情、生活習慣と規範意識についてほぼ全国水準にあることがわかり、学校生活が落ち着きつつある状況にあると評価できますが、長年の課題である家庭での学習についてはまだまだ課題があり、学習習慣の確立と学習意欲をさらに喚起する指導の継続的な取組が重要だと考えています。

「指導の充実に向けて」などHPに詳細を記載していますので、お読みください。

優勝おめでとう！

滋賀県中学校駅伝競走大会 初V

11月16日(金)に実施されました滋賀県中学校競走大会において、本校男子駅伝チームが見事初優勝を飾り、12月16日(日)に希望が丘公園で開催される全国大会に出場します。また、12月1日(土)に万博公園で開催される近畿大会にも出場します。声援よろしくお願ひします。



☆ ≡

